

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果

【中学校・義務教育学校後期課程】

I 調査の概要

1 調査の目的

○義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

○上記のような取組みを通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

中学校第3学年・義務教育学校9年生の生徒

3. 調査の内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

4. 調査日時

令和5年4月18日（火）

II 学力調査の結果

1 教科に関する調査結果（平均正答率）

	国語	数学	英語
全国	69.8	51.0	45.6
広島県	70	49	43
府中市	68	46	41

2 調査結果にみられる特徴（相当数の生徒ができています点）

【国語】

【思考・判断・表現】

目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる
(市 89.7%)

【数学】

【知識・技能】問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる
(市 85.4%)

【英語】

【知識・技能】情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる（市 78.1%）

3 調査結果にみられる課題及びその課題に対する改善策

【国語】

課題
【思考・判断・表現】書くこと 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる (市正答率49.8%)

【数学】

課題
【思考・判断・表現】図形 ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる (市正答率19.2%)

【英語】

課題
【思考・判断・表現】書くこと 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる（市正答率4.2%）

4 学習状況調査（生徒質問紙）の結果にみられる傾向

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目
・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (市 95%、全国 95%)

5 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも低かった項目
・家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む) (市 54.5%、全国 55%)